

「自分の道貫いた」

恩師ら、県出身2人たたえる

八代白百合(熊本)・剣道女子団体3位



中村学園女子に敗れ、涙を流す岩原(後列左端)、松山(右から2人目)ら八代白百合学園の選手＝高知県春野総合運動公園(岡野将大撮影)



勝負の行方はインターネツトの大会速報でチェックした。岩原選手が惜敗した代表戦。中村学園女子(福岡)が7月の玉竜旗大会で岩原選手に勝った副将を代表に立ててくると「中村の監督も相性などを考えて選んだ」と感じたという。

試合後、涙に頬を濡らす

岩原選手を松山選手ら仲間が肩を抱くようにして慰めた。「徳島中時代も信頼し合う仲間に恵まれ、絆が深

かった。熊本でもそれは変わらなかったんですよ」と語り、「大学など次のキャリアで悔しさを晴らし

かったが、県内の恩師らからは活躍をたたえる声が上がった。(1面参照)

徳島中時代に2人を指導した兼松佳史さん(51)は貞光光教頭は「全国の3位。胸を張っている」とねぎらった。

7日に高知県春野総合運動公園で行われた四国インターハイの剣道女子団体では、徳島中出身の岩原千佳、松山若樹両選手が主力の八代白百合学園(熊本)は準決勝で敗れ、3位となった。悲願だった初優勝はならな